

「朱書」
澄書主任 辰

查三〇四號

大正十三年三月二十八日立案
大正十三年三月二十九日發送

局長	課長	局長
貯	規	貯
	一法	
經	查	法

回 答 大正十三年 月 日

「朱書」
（添附モノアリ）
經理 局

熊本 逕 信 局

手支拂期間ニ關スル件

監法第三六四七號 照 會 一月廿五日

右ニ付大藏省主計局へ交渉シ同局ヨリ更ニ日本銀行本店へ交渉ノ結
果ハ別紙日本銀行副本調査役ヨリ大藏省主計局前野屬へ回答ノ通ニ
付了知相成度

「朱書」

備考

大藏省主計局ニ於テハ別紙日本銀行副本調査役ヨリ回答ヲ以テ本件
解決セラレタキ旨希望アリタルニ付本儀提案ス

國庫第一一號

大正拾叁年叁月拾八日 日本銀行國庫局

岡本兵太郎

大藏省主計局

前野大藏屬殿

拜啓時下益御清安奉賀候陳者過日參省ノ節御内話御座候熊本稅務監
督局支出官發行大正十一年十一月十五日付支拂通知書ニ對スル宮崎
縣諸塚郵便局繰替拂ノ分一ヶ年經過云々ノ件ハ期間ノ計算ハ民法ノ
規定ニ據ルヲ妥當ト解シ此際郵便局ニ對スル決算可取計様熊本支店
へ通牒取計同店ヨリモ^奉通知ノ旨回答有之候間右御承知置被下度得
意候也

追テ本件ニ對シ當時熊本逓信局監督員ヨリ支拂拒避ノ意見ヲ糺

貯金局

レシ節ニモ熊本支店ニ於テ商慣習云々ノ回答ハ不致由申越候

查三〇四號

大正十三年二月廿七日立案

大正十三年三月五日發送

局長 課長 査 法

貯 規 一法

照 會 大正十三年三月 日

經理局長

大藏省

主計局長

小切手支拂期間ニ關スル件

貯金局

熊本稅務監督局支出官發行ノ郵便局撥出金支拂通知書ニシテ小切手振出日附大正十一年十一月十五日ノモノニ對シ宮崎縣諸塚郵便局ニ於テ大正十二年十一月十五日之カ支拂方處理セル處日本銀行熊本支店ニ於テハ右ノ支拂期間ハ商慣習ニ依リ振出日附ヨリ起算スヘキモノニテ諸塚局支拂ハ既ニ支拂期間經過セルモノナル旨主張致居候趣ニ付テハ右支拂期間計算方ハ商法第一條ニ依ルヘキモノナリヤ否今後ノ取扱ニモ關係致候ニ付折返シ一應費見承知致置度

備考

參考ノ爲這般日本銀行本店主任ノ意見聞合セタルニ今年規則ニ「振出日ヨリ一年云々」トザルヲ以テ振出日附ヨリ起算スヘキモノナリト稱へ居ルモ今年規則第五十一條第五十二條ハ期間計算ノ規定ニ非サ

ルヲ以テ右ノ意見ハ正當ナラスト認ム

貯金局

共
同
貯
金
局

會計規則

第四十三條 本章ノ規定ハ商法中小切手ニ關スル規定ノ適用ヲ妨ケ
ス

第五十一條 小切手ノ呈示アリタルトキハ日本銀行ハ（中略）之カ
支拂ヲ爲スヘシ

前項ノ小切手ニシテ其ノ振出日附ヨリ十日ヲ經過シタルモノト雖
一年ヲ經過セサル場合ニ於テハ之カ支拂ヲ爲スヘシ

第五十二條 日本銀行第四十八條ノ規定（隔地者拂）ニ依リ資金ノ
交付ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ小切手ノ振出日附ヨリ一年ヲ經過
シタルトキハ債主又ハ出納官吏ニ對シ之カ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

商
法

貯
金
局

第一條 商事ニ關シ本法ニ規定ナキモノニ付テハ商慣習法ヲ適用シ
商慣習法ナキトキハ民法ヲ適用ス

第二百六十三條 左ニ掲クル行爲ハ商行爲トス

四 手形其ノ他ノ商業證券ニ關スル行爲

第五百三十三條 小切手ノ所持人ハ其ノ日附ヨリ十日内ハ小切手ヲ
呈示ジテ其ノ支拂ヲ求ムルコトヲ要ス

民
法

第四百十條 期間ヲ定ムルニ日、週、月又ハ年ヲ以テシタルトキハ
期間ノ初日ハ之ヲ算入セス但其ノ期間カ午前零時ヨリ始ムルトキ
ハ此限ニ在ラス

第四百十三條 期間ヲ定ムルニ週、月又ハ年ヲ以テシタルトキハ曆
ニ從ヒテ之ヲ算ス

週、月又八年ノ始ヨリ期間ヲ起算セサルトキハ其ノ期間ハ最後ノ
週、月又八年ニ於テ其ノ起算日ニ應當スル日ノ前日ヲ以テ滿了ス
(後略)

貯金局

監法第三六四七號

照會

大正十三年一月廿五日

熊本遞信局

遞信省經理局 御中

小切手支拂期間ニ關スル件

「朱書」
注意
本件ハ各處
歳出金繰替
拂ノ規定ニ
依リ
諸塚局ニ於
テ郵便局扱
出金支拂
通知書ニ對
シシタレ

會計規則第五十一條第二項ノ小切手支拂期間計算ニ關シテハ商法ニ別段ノ明文無之ニ付民法ノ規定ニ據ルヘキモノト被思料候處大正十一年十一月十五日振出日附アル熊本稅務監督局發行ノ小切手ヲ宮崎縣諸塚局ニ於テ大正十二年十一月十五日支拂タルヲ日本銀行熊本支店ニ於テ商慣習ニ依リ振出ノ日附ヨリ起算スヘキモノト爲シ支拂期間經過トシテ處理致サス候ニ付テハ理カ疑義ニ亘リ候ニ付一應省議

貯金局

承知致慶

「朱書」

民法ニ依レル十一月十一日ヨリ起算シ翌年十一月十五日滿期トナリ東京ノ商慣習ニ依レル十一月十五日ヨリ起算シ翌年十一月十四日滿期トナル